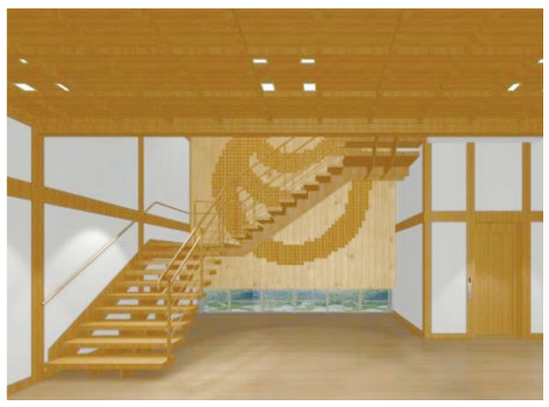
「道後温泉別館 飛鳥乃湯泉」が9月に誕生

四国DC開催中!! 観光商品続々ラインアップ

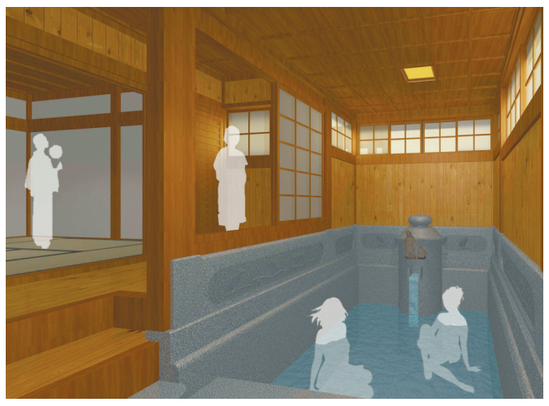
愛媛県松山市

道後温泉別館 飛鳥乃湯泉（あすかのゆ）の概要


エントランス（和釘で描く巨大な湯玉）

個室休憩室（今治タオル）

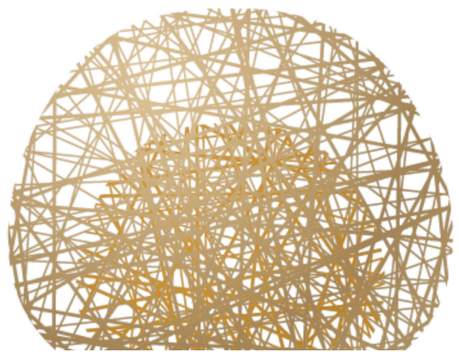
大浴場（砥部焼の陶板壁画）


特別浴室

暖簾（伊予絣）

露天風呂（デコラパネルの装飾壁）

休憩室（ギルディング和紙のシェードと照明）


行燈（伊予竹細工）

道後温泉別館　飛鳥乃湯泉（あすかのゆ）は、新たな温泉文化を発信する拠点、飛鳥時代をイメージした湯屋が17年9月に誕生。基本構想は、日本を代表する建築家のトップランナーで、東京大学名誉教授の内藤廣先生。温泉は、道後温泉本館と同じ、全国でも珍しい、加温も加水もしていない源泉かけ流しの「美人の湯」。外観は596年聖徳太子の来浴や661年斉明天皇の行幸などの伝説が残る飛鳥時代の建築様式を取り入れた特徴的な建物。明治時代の近代和風建築の代表である道後温泉本館と対比させ、2つの時代の風呂が楽しめる話題性に富んだ道後温泉として、国の内外へPRしていく。

屋根の上には、道後温泉のシンボルである塔屋を配置し、中庭には、聖徳太子が道後温泉に来浴された際、残したとされる「湯岡の碑文」に、「神の温泉を囲んで、椿が互いに枝を交えてしげりあい、椿の実は花びらを覆って温泉に垂れている」と描かれており、椿が生い茂っている当時の様子をイメージし、松山市の市花の「椿の森」を再現。

1階は開放的な大浴場と露天風呂。2階は本館の皇室専用浴室の又新殿を再現した特別浴室を設え、家族風呂の利用が可能。また昔一定以上の身分の人が身に着けていたと考えられ、ユカタの原型となった「湯帳」を着て古代の入浴が体験可能。また、約60畳の大広間の休憩室と5つの個室休憩室を設え、道後温泉ならではの「おもてなし」の給茶サービスを行う。内観コンセプトは、「太古の道後」をテーマに道後温泉にまつわる伝説や物語などを「愛媛県の伝統工芸」と「最先端のアート」をコラボレーションした作品で演出し「温泉の癒し」と松山・道後でしか体験できない感性を刺激する「新たな温泉文化を発信する拠点」を目指す。施設を訪れた観光客に愛媛の伝統工芸の魅力を知ってもらうとともに、この取り組みで、新たな工芸品や名産品を創出し、道後地域の商店街・ホテル等にて物販を行うことなどで、地域の賑わいづくりに貢献するとともに、伝統工芸の活性化に向けた一翼を担う。

道後温泉本館の保存修理工事について

道後温泉本館は、もう工事に入っており入浴することも写真撮影もできないと噂されているが、工事は「道後温泉別館飛鳥乃湯泉」がグランドオープンしたあとの18年以降で検討しており、9月の国体前に工事に入ることはない。また、工事中も営業しながら行う予定で、「工事をしているから入浴できない」ことはない。また、工事期間中でしか体験ができないイベントや、工事風景が眺められる展望スポットの整備など、ピンチをチャンスに変える取り組みを検討している。

四国デスティネーションキャンペーン向けの特典も設定した松山の観光商品

食べ歩きクーポン充実 子規・漱石をイメージ

瀬戸内海の「ゆめたび」弁当のイメージ

お城下ちょい飲みちょい食べクーポン

松山城下でいきいき鯛めし

道後ぐるめクーポン・和

子規、漱石　生誕150年記念　松山「椿」セット

子規・漱石生誕150年記念事業

瀬戸内海の「ゆめたび」弁当の誕生

松山の郷土料理松山ずしをベースに瀬戸内の幸が満載。瀬戸内の小魚と大き目のあなごのもぶり飯。四国DC期間中、チャーター船と瀬戸内マリコさんを手配すると1200円が600円に。

魅力拡大、お城下ちょい飲みちょい食べクーポン

松山城下を、ちょい飲みちょい食べしながら、まち歩きを楽しむクーポン。まち歩きマップ付き400円（ツアー組込商品）。8店舗9商品の中からクーポンの綴り4枚分を自由に選べる。①港や（たまごバター餅1個とあいちゃん願い札1枚）②東雲かまぼこ（無添加じゃこ天1枚）③揚げ鯛（揚げ鯛串2ピース）④10FACTORY（おすすめ生搾りジュースまたはジェラート（トリプル）⑤坂の上の雲ミュージアム、ミュージアムカフェ（お好きな飲み物と松山銘菓、オリジナル缶バッチ付き）⑥一酒一感蔵元屋（お好きなお酒1杯）⑦えひめ愛顔の観光物産館（坊ちゃん団子1本）⑧うなぎ小椋（焼きおにぎり1個）。

松山城下でいきいき鯛めし

生卵をといたうまダレ醤油の中に新鮮な鯛の刺身、海藻や薬味を混ぜ合わせアツアツのごはんにかけていただく宇和島独特の海の食文化を松山城下で楽しめる。期間は17年4月1日から9月30日（設定除外日、店舗ごとに定休日あり）。丸水（松山市大街道3―6―4）は、宇和島鯛めし、小鉢、自社栽培のサラダ、味噌汁、漬物、みかんジュース（果汁100%）。かどや（松山市大街道3―1―1）は、宇和島鯛めし、鯛のカマ塩焼き、じゃこ天、吸い物、香の物。料金はどちらも1人2千円。

道後ぐるめクーポン・和（なごみ）デラックス

新しく1店舗増え、6店舗（8商品）から選べるクーポン券にグレードアップ。美術館、博物館の割引優待券を新たに追加。道後ハイカラ通りで松山・道後ならではのグルメとアート体験が楽しめる。330円（ツアー組込商品）。

子規、漱石　生誕150年記念　松山「椿」セット

文豪・夏目漱石が小説「草枕」の中で絶賛したお茶をイメージして作られたセット。2人が生きた明治を松山で体験。最高級品の貴重な緑茶と140年間愛されてきた和菓子がセットに。松山の市花椿をデザインしたポストカード付。利用店舗は山田屋まんじゅう「茶楽」（松山市道後鷺谷町5―13）。設定期間は17年4月1日から9月30日までの毎日。料金は900円。

子規博リニューアル 外国人向け写真俳句開催

2017年の子規・漱石生誕150年記念として、「松山から世界へ そして未来へ」をテーマに、子規と漱石の「出会い」「友情」「別れ」「功績」の紹介を軸とした事業を実施。等身大の2人にスポットをあてたエピソードを効果的に盛り込み、松山ならではのストーリー性を持った事業を計画している。

子規記念博物館のリニューアル

子規記念博物館の常設展に新たに映像機器を導入するなど、子どもから大人まで幅広い年齢層に楽しめるよう4月に一部をリニューアル。5月下旬までは「子規・漱石・極堂　生誕150年記念特別企画展」を開催する。

子規・漱石・極堂生誕150年記念式典

子規・漱石・極堂の顕彰や著名人を招いたシンポジウムなどを開催。開催日時は2017年10月14日。会場は子規記念博物館（道後公園）。（問）子規記念博物（TEL：089・931・5566）。

子規・漱石生誕150年記念　第20回俳句甲子園

高校生が5人1チームで俳句の作句力と鑑賞力を競う全国大会「俳句甲子園」は生誕150年の記念大会として実施。全国大会（松山市）は8月18日に組合せ抽選会・ウエルカムパーティー、19日開会式・予選リーグ・予選トーナメント、8月20日敗者復活戦・決勝リーグ・決勝戦・表彰式、フェアウェルパーティー。

年間を通じて俳句と市内観光が体験できるまち歩き商品の提供や写真俳句コンテストの開催を予定している。全国大会の会場は大街道商店街特設会場・総合コミュニティセンター（湊町7丁目）。（問）文化・ことば課（TEL：089・948・6952）。

『International Photo―Haiku Festival』

『International Haiku Festival』（インターナショナル フォトハイクフェスティバル）を外国人向けに実施。国内向けには「写真」と「俳句」を組み合わせた新しい表現世界を創造するコンテスト「瀬戸内・松山国際写真俳句コンテスト」を開催。「俳都松山」「瀬戸内・松山」の魅力を国内外に発信する。

ガイドと一緒にテーマに沿って松山市内を散策する「松山はいく」では「散策集の道を歩く」「漱石先生温泉に通う」などゆかりのコースを設定する。（問）観光・国際交流課（TEL：089・948・6559・948・6554）。

第15回坊っちゃん文学賞

漱石ゆかりの松山から新しい青春文学の創造を目指して創設した文学賞。これまでの小説部門に加え、生誕150年を記念して「ショートショート部門」を新設。締め切り　2017年6月30日（金）（消印有効）。（問）坊っちゃん文学賞実行委員会（文化・ことば課内）（TEL：089・948・6634）。

子規・漱石生誕150年記念事業

子規・漱石生誕150年のロゴ

子規記念博物館

問い合わせ先
松山市産業経済部観光・国際交流課
〒790-8571
愛媛県松山市二番町四丁目7―2
TEL：089―948―6558
FAX：089―943―9001
http://www.city.matsuyama.ehime.jp/kanko/